



きよかわむら 社協だより

2015
5
No.165



くふれあい昼食会く
おいしいお弁当と
満開の桜を満喫!

今年度第1回目のふれあい昼食会を4月2日(木)に行いました。この日は通常のもみじ会の食事ではなく、行楽弁当を持って、雄大な宮ヶ瀬ダムを見ながらいただきました。食後には「あいかわ公園」へ移動しお花見を楽しみました。青空にほかほか陽気という絶好のお花見日和の中で満開の桜を見た参加者は「今までの中で今日の桜が一番きれいね」「この仲間と行けるのが何よりも楽しいよ」と話していました。

5月号 おもな内容

- | | | | |
|--------------------|----|------------|----|
| ●ボランティアの扉 認知症サポーター | 2P | ●福祉給食サービス | 3P |
| ●デイサービスの話題 | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |

ボランティアの扉 認知症サポーター

国では、認知症の方が2025（平成37）年には約700万人（約5人に1人）にまで増えると推計しており、認知症の方が住み慣れた地域で過ごすための一つとして、「認知症サポーターの養成」を掲げています。村では一昨年度から、認知症キャラバンメイトのご協力により住民、事業所、当事者団体、ボランティアなど78人に養成講座を受講していただきました。今年度も村の「身近な見守り役」として更なる増員を目指していきます。

煤ヶ谷郵便局



当局では4人の局員全員が養成講座を受講しました。早速、認知症の疑いのあるお客様に遭遇する場面がありましたが、講義で具体的な対応方法を教えていただいたので慌てずに対応することができました。今後も継続して実践していきたいと思います。

清流の館



私たち販売員は「もしかしたら認知症では？」というお客様と接することがあります。そのような時には、「認知症の人への対応の心得」である「3つのない」を思い出して対応しています。

ボランティア (紡ぎの会、ぷらっとGO!)



私たちは金翅自治会館など自分たちの住んでいる身近な地域で活動をしています。認知症サポーターとはいっても「普通の人」に変わりはありません。対応に困った時には「地域包括支援センター」へ連絡することを心掛けています。

受講された方には、認知症の方を応援する「目印」としてオレンジ色のブレスレッド「オレンジリング」が渡されます。



私たちが清川村のキャラバンメイトです

認知症サポーター養成講座では、都道府県の主催する専門の研修を受講し、認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を習得したキャラバンメイトから、自治会館や職場などで認知症の基礎知識について、またサポーターとして何ができるかについて学びます。

今年度の認知症サポーター養成講座は、自治会を中心にキャラバンメイトが自治会館等に出張して行っていく予定です。1時間程度の講座ですので、自治会長から回覧でご案内がありましたら是非とも受講してみてください。（担当：小島）

デイサービスの話題

「月見草の会」と 「清川ババーズ」

素敵な共演

4月3日(金)に、デイサービスの演芸ボランティアとして、厚木市依知長坂から「月見草の会」の皆さんが銭太鼓の披露に、JAあつぎ清川支所女性部有志のカラオケグループ「清川ババーズ」の皆さんが歌の披露にと、ひまわり館に来館されました。

銭太鼓は、30cm程度の竹筒の両端内部に穴のあいた銭(五円玉が主流)を3枚ずつ十文字になるように取り付けて閉じたものです。竹筒を「シャリ、シャリ」と軽快に鳴らしながら「月見草の会」の皆さんが踊る様子を利用者は興味を持って見ていました。また、「清川ババーズ」の皆さんは東京のバスガールを「清川のバスガール」に変えて歌声を披露してくださいました。

利用者は「珍しいもの(銭太鼓)を見せていただき、とても楽しかった」「是非また来ていただきたい」と話していました。また、演芸終了後は皆さんでお茶を飲みながら世間話に花を咲かせ、交流を深めることができました。



福祉給食サービス事業

5月から週2回、お弁当をお届けします

清川村からの受託事業として清川村社協では、「福祉給食サービス」を実施しています。食生活改善推進団体もみじ会の作るお弁当を配食ボランティアがご自宅までお届けしています。今までは毎週水曜日1回のお届けでしたが、5月からは、水曜日と金曜日の週2回の実施になります。

サービスについての詳しいお問い合わせは左記までお願いします。



【利用できる方】

65歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者世帯の方で、食事を作ることが多少困難な方など(※利用するには事前の申請が必要です)

【配食日】

毎週水曜日と金曜日
(祝日、お盆、年末年始を除く)

【利用料】

1食300円

【問い合わせ先】

清川村社協 担当 山口
☎046・287・1118

「誰でもわかる!」「何でも聞ける!」 福祉の仕事ミニセミナー

「資格」・「経験の有無」・「施設の種類」・「職業適性」等、毎月テーマを変えて、福祉業界の現状をキャリア支援専門員がわかりやすく説明します。福祉の仕事に興味がある方ならどなたでも気軽にご参加いただけます。

日時 毎月第2、第4金曜日

午後2時～3時

(受付午後1時30分から)

【5月8日、22日】

～資格がないと働けないのか～

【6月12日、26日】

～経験がなくても働けるの～

【7月10日、24日】

～仕事の職業適性を知る～

場所 かながわ県民センター13階

(横浜駅西口徒歩5分)

対象 福祉・介護の仕事に興味がある方ならどなたでも

参加料 無料

申込 不要(定員各回10名(先着順))

その他 個別に相談も受け付けています。キャリア支援専門員の専門相談も気軽にご利用ください。(無料・予約可)

問い合わせ先

神奈川県社会福祉協議会 福祉人材センター

電話 045-312-4816

Email jinzai@knsyk.jp

寄付をありがとうございます

平成27年3月～平成27年4月

○匿名の方 10,849円

○匿名の方 2,000円

公益財団法人ジョイセフ主催 「思い出のランドセルギフト」キャンペーン 開梱・梱包等ボランティア募集

アフガニスタンの子どもたちにランドセルを届ける活動の一貫として、ボランティアを募集します。活動は、全国から寄贈されたランドセルの検品、文房具の仕分け、梱包作業が主です。作業を通じ、アフガニスタンの子どもたちの現状や自分たちに何ができるのかなど感じ取って頂ければと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成27年5月23日(土)

午前10時～午後4時(予定)

場所 KK 横浜貿易倉庫

(横浜市都筑区池辺町4261-13)

(JR横浜線鴨居駅より徒歩7分)

※集合場所は JR 横浜線鴨居駅改札口

内容 寄贈されたランドセルの開梱・梱包作業等

対象 中学生以上の方(小学生は保護者の付き添いがあれば可)

参加費 無料

参加申込 5月7日(木)までに清川村社協までお申し込みください。

その他 昼食は村社協で用意します。

問い合わせ・申し込み先

清川村社会福祉協議会

電話 046-287-1118

Email info@kiyokawa-shakyo.jp

回収にご協力ありがとうございます

平成27年3月～平成27年4月

○ペットボトルキャップ 13件

○古切手 6件

○使用済みプリペイドカード 1件

はあじ うおーむ

思い出のランドセルギフトのボランティアを募集しています。私は、昨年参加しました。全国から集まるたくさんの方のランドセルに、日本中と同じ思いで活動に協力している人がたくさんいるのだと実感しました。ぜひ、子どもたちにもこの活動に参加していただき、世界のことや今の自分にできることなどを感じ取っていただければと思います。

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013